

令和3年4月 岡山市教育委員会定例会 会議録

1 開催日	令和3年4月27日(火)		
2 開会及び閉会	開会	14時00分	
	閉会	15時40分	
3 出席委員	教育長	菅野和良	
	委員	妹尾直人	
	委員	片山美香	
	委員	河内智美	
	委員	石井希典	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	荻野拓志	教育次長	奥橋健介
学校教育部長	谷岡哲郎	生涯学習部長	小坂正樹
教育企画総務課長	重河啓子	教育企画総務課企画調整担当課長	植山智恵
就学課長	畑克己	保健体育課課長代理	花房明彦
教育給与課長	今村正樹	教職員課長	齋藤靖
生涯学習課長	渕田裕之	指導課長	田中光彦
指導課教育支援担当課長	一守和弘	指導課人権教育担当課長	名合淳
教育研究研修センター所長	怒田眞由美	学校施設課課長補佐	藤田光一
岡山っ子育成局子育て支援部 地域子育て支援課課長補佐	目黒恭広		
事務局 (教育企画総務課課長補佐)	井本浩行	事務局 (教育企画総務課指導副主査)	岡崎主馬
5 議題及び結果			
第7号議案	第2期岡山市教育振興基本計画 令和3年度アクションプランの決定について		原案可決
報告第13号	岡山市教育委員会岡山市立学校管理規則の一部を改正する規則の制定について		承認
6 教育長等の報告 [令和3年3月13日(土)～令和3年4月9日(金)]			
3/27～28	岡山市子ども会ジュニアリーダー研修会	地域子育て支援課	
3/28	岡山市子ども会インリーダー研修会	地域子育て支援課	

3/28	岡山市ジュニアオーケストラ第 56 回定期演奏会（創立 55 地域子育て支援課周年記念演奏会・第 22 回スプリングコンサート）
<p>教育長 河内委員</p> <p>地域子育て支援課課長補佐</p> <p>河内委員</p> <p>地域子育て支援課課長補佐</p> <p>河内委員 石井委員</p> <p>教育長 教育長 全委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業報告をご覧になって、何か質問はないか。 ○ コロナの中であってでもできたんだなと思って拝見したが、1番と2番で、ジュニアリーダーとインリーダー書かれていて、人数が違うようであるが、この違いを教えていただければと思う。 ○ ジュニアリーダーについては、中高生が活動するものになっており、インリーダーについては6年生の子どもたちが活動をするリーダー養成講座となっている。中1から中3までは、新規2人、それから、前から活動している18人と合わせての20人となっている。 ジュニアリーダーについては、例年であれば3泊4日でやっているが、コロナの関係で開催をどういった形でするかということで、3人の参加となっている。 ○ 子どもさんがされているということで、リーダーが地域で育ててきてきだなと思ったが、具体的に子ども会でどんなことをされるのかということと、それが、地域によってリーダーが育てている地域と、全然こういう研修にも出て来られないような地域とで差が生じているのか、可能であれば、教えていただきたい。 ○ 今回のジュニアリーダーというのが、中高生が対象となっていて、この子どもたちが2日目のジュニアリーダー、インリーダーを楽しませるための企画を考えてやっている。そういったものを活用することで、下の世代の子どもたちにも、どういったことを企画していけば、子ども会などで盛り上がりやっつけられるかというようなことを考えている。それを持ち帰って各地区でやってもらおうと思っはいるが、どの地域がということは把握していない。 ○ 活動が今後すごく活発になっていったらいいなと思った。 ○ 事業報告で、いつも行事について報告をいただいているが、後でアクションプランも出てくるが、行事のない事業についての事業報告というのがお伺いできない状況にあると思っいて、特に注力してる事業だとか、新しく今期始まっていくその事業についての状況、それは毎回でなくてもいいが、何かその状況の進展がある場合について、あるいは何か課題がある場合について、事業報告という項目でご報告いただけたらありがたいなというふうに思う。あるいは、事業報告ではなくて、行事の報告ということで変えていただけたら思う ○ 石井委員、この件については後で検討させていただきたい。 ○ ほかにあるか。 ○ 〈なし〉
7 議事の概要	
<p>教育長</p> <p>全委員 教育長</p> <p>全委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ただいまから4月の定例会を開会する。 傍聴希望者はおられない。 まず、日程第1、会期についてであるが、本日1日限りとしてよろしいか。 ○ 〈承認〉 ○ 本日1日限りとする。 日程第2、議事録であるが2月の定例会、3月の臨時会、3月の定例会と、間違いなければ、署名をお願いしたい。 それでは、次に入る。 ○ 議事に入る前に、会議の公開、非公開についてお諮りをする。日程第4の第6号議案は、任免、賞罰等、職員の身分取扱いその他人事に関する事項として、会議規則第7条第1項第1号に該当するため、非公開としたいと思うが、委員の皆様、いかがであるか。 ○ 〈承認〉

<p>教育長</p> <p>企画調整担当課長</p>	<p>○ それでは、非公開と決定する。</p> <p>次に、日程第4、第7号議案に入る。教育企画総務課企画調整担当課長、説明をお願いします。</p> <p>○ それでは、第7号議案、第2期岡山市教育振興基本計画令和3年度アクションプランの決定について説明する。</p> <p>本議案は、岡山市教育振興基本計画を効果的に推進するために、令和3年度のアクションプランを定めようとするものである。</p> <p>本日は、これまで委員の皆様方にいただいたご意見を基にして、見直し、修正した点を含め、ポイントとなる点についてご説明する。</p> <p>まず、1ページをご覧ください。</p> <p>アクションプランは、教育振興基本計画の施策を実現するための実施計画として毎年度作成しているものである。</p> <p>ここには、第2期教育振興基本計画の内容から抜粋して、岡山市が目指す自立に向かって成長する子どもを育成するための岡山型一貫教育と岡山市地域協働学校の2本柱について、また、人権尊重の理念を大切にすることと、ESDの視点を生かしていくことについて記載している。</p> <p>次の2ページには、岡山市の教育が目指す市民協働の人づくりのイメージを図で示している。</p> <p>続いて3ページは、アクションプランの説明である。</p> <p>2段目中ほどには、新型コロナウイルス感染症に関して、日々変化する状況に柔軟に対応できるよう、関係部局と必要に応じて連携して取り組むことを、また、第2期岡山市教育大綱で示された目指す子どもの姿である、自らの個性を磨き、選択と挑戦を繰り返すことができる子どもについて記載している。</p> <p>4ページと5ページをご覧ください。</p> <p>第2期教育振興基本計画の6つの政策と13の施策、今年度の主な事業等を体系図で表している。</p> <p>今年度の新規事業は星印で示した8事業、拡充事業は2重丸印で示した5事業である。</p> <p>続いて6ページと7ページをご覧ください。</p> <p>昨年度からこのフローチャートについては何度もご意見をいただき、ご検討いただいているところであるが、今回は、前回の協議会でいただいたご意見を基に変更した点について説明をする。</p> <p>問題行動等の防止及び解決について、7ページ、右側の主な取組、2つ目、不登校への取組についてである。不登校への取組については、早い段階でしっかりと手立てをする必要性が伝わるよう、「不登校への取組として、早期の対応を徹底するとともに、支援方針を共通理解するために支援計画を作成したり、中学校区で年間3回の協議を実施したりするなど、不登校の未然防止に向けた取組の充実を図ります。」という文章に変更している。</p> <p>8ページをご覧ください。</p> <p>ここからは今年度の事業一覧を掲載している。前回から修正している部分があるのでお伝えする。</p> <p>13ページをご覧ください。</p> <p>上から3つ目、史跡公有化の推進である。史跡万富東大寺瓦窯跡の公有化が令和2年度に完了したために、事業内容からは削除、併せて、このページ、一番上の史跡保存整備事業の事業内容に追記している。本日お配りさせていただいているものである。</p> <p>また、本日差し替え版としてお渡しさせていただいたが、26ページ、一番上となる新成人の集い事業である。</p> <p>令和2年度の、延期となっていた式典は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったので、事業内容を本日修正し、差し替え版としてお配りさせていただいた。</p>
----------------------------	--

<p>教育長 河内委員</p>	<p>続いて、30ページをご覧ください。 ここからは3ページにわたって事業目標の主要一覧を掲載している。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、実績値が出ないものについては、未実施と記載している。 続くページには参考として、第2期岡山市教育振興基本計画の政策の評価指標一覧と、第2期岡山市教育大綱の指標一覧を掲載している。 なお、全般にわたり、文言の表記の統一等、修正を行っている。</p> <p>○ ご質問、ご意見があれば、よろしく願います。 ○ 3点願います。</p> <p>1点目は、クローズアップのところの不登校への取組の文書の変更について、短期間で納得いく文章に変えていただけたと思っている。 それから、2点目は、このクローズアップでもICTのことが随所に出てきて、情報教育推進室もセンターにでき、ICTを活用する教育の環境が大きく前進し、それをまたいろんな方針に盛り込んだり、具体的な取組を考えてくださったりと、随分進んできた実感している。 教育研究研修センターでも、布陣が整ったとはいえ、本当に大きな業務をこなすため、大変だろうなと感じている。そうした中で、学校現場からは、タブレットを1人1台持って、授業をさあ、始めようとしたときに、大型テレビを使って接続し授業を進めようとしても、ヘルプデスクの方とか、センターの方とか、今ずっと学校を回られていて、なかなか順番も来ないし、いざ、授業を始めようと思っても、出ばなをくじかれたような、そんな感じがするという声が聞こえてきている。 昨年度もヘルプデスクの数が少ないのではないかとこのことを言わせていただいていたが、何人くらいで業務を行っているのか。</p>
<p>教育研究研修センター所長 河内委員</p>	<p>○ 5人で行っている。</p> <p>○ その人数では、全校に回っていくのが大変なのではないかなと思うが、例えば1年通してヘルプデスクが必要というわけではないと思うが、期間限定で業者委託するとか、人の数を増やしてできないものかなという思いがしている。 それから、3点目であるが、最後の参考のところの目標値である。これは、最終年度になっていくわけであるが、学力などの直接的な子どもに対する指導でクリアできるものと、家庭や地域などの協力ができないものがあると思う。直接子どもに指導できるところは随分数値が目標を達成できてきていると思うが、政策の2や3のところは、なかなか進んでいかない。これは、やっぱり朝食を毎日食べるといっても、与えてくれるのは保護者であって、家庭頼みである。家庭学習でもそうである。それから地域をふるさととして誇りに思ったり、何か好きになったりするということも、やはり地域社会の協力があって、じわじわ浸透していくことになるので、もともとの数値目標が厳しかったのか。それとも、少しでも上げていこうと思ったときに、やはり地域協働学校の推進が今、新鮮さを欠いて、マンネリ化して、その学校、学校でのやり方が停滞ぎみになっているとか、切り込んだ取組になっていないのではないのかなど。そういうところへこれから力をかけていかないと、この数値は上がっていかないのかなという思いがしている。 これから来年度のアクションプランに向けて、このあたりの総括と、それから計画というものを進めていかななくてはいけないと思うが、どのようにお考えなのかという、この3点、よろしく願います。</p>
<p>教育研究研修センター所長</p>	<p>○ ヘルプデスクについて、これまで2名体制だったところを5名体制にしてやっているところではあるが、実際に推進員が学校に訪問する中で、やはり今、委員がおっしゃったような、恐らくクロームキャストを設定するところなんだと思う。</p>

河内委員	<p>クロームキャストを買ったはいいが、その設定がヘルプデスクでやってみようということになっているので、なかなかその順番が来ないというのを私どもも聞いてはいるが、そのあたりを確認してみようと思う。</p> <p>先ほど言われた一時的に数が増やせるかどうかについては、いったん考えてみなければ、今すぐこちらでお答えできないところもあるが、そこも検討させていただきながら、その状況は確認させていただこうと思っている。</p> <p>今、実際、学校訪問を行っている中で、やはり学校によってどんどん使おうとしている学校もあれば、まだうまく使えていないという学校もある。まず情報担当への研修が始まっているところではあるが、来月に入ったら、実際にクロームブックを使う研修も取り入れていくので、担当の先生たちを中心にしながら、広めていただいたり、ICT支援員が6月からは入るので、そこを使っていきながら、学校でできるようにしていきたいと思っている。ヘルプデスクの件は持ち帰らせていただく。</p> <p>○ 今、お答えいただいたこと、昨年度の岡山市の全体計画、後期中期計画の中でも、いろいろと話をしてきた中에서도出てきた話題かなと思っている。それで、ぜひ後期中期計画のほうは、この6月に議決を岡山市全体で経て、その後、実施していくことになるが、その中でも学校運営協議会が全ての中学校区で設置できたその後のことについてどう考えていくかということも踏まえて、第3期となる教育振興基本計画でも考えていかないといけないかなというふうに考えているところである。</p>
教育長	<p>併せて32ページのところの今年のアクションプランの指標の中でもあるが、施策6の3、地域協働学校の活性化と充実ということで、一般評価のほうも学校運営協議会の実施回数なども踏まえて、この内容の充実などを図っていききたいということで新規の指標も出していただきながら、しっかり考えていきたいと考えている。</p> <p>○ 地域協働学校については、本当に形骸化しているところもあるということも、早くから危機感を持っていた。それで、今回の教育大綱については、地域協働学校を活性化することによって教育大綱の目標達成に近づくのかなど。その逆も言えるかもしれないが、これからしっかり働きかけていき、特に、小学校高学年や中学生が実際に地域に出ていって、地域の課題を地域の人と共に考えていくと、本当に教育内容に関わるようなことを学校運営協議会等で話し合っていていただく、そういう仕掛けをしていって活性化に結びつけていきたいと思っている。</p> <p>もう少し具体的に言うと、総合的な学習の時間などをしっかり使う。これはESDにもつながることであるが、そういう仕掛けをしっかりとこれから考えていく。ただ、既に教育課程は動き出していて、すぐにすぐ結果を求められると厳しいが、長いスパンでやっていきたいと考えている。</p>
片山委員	<p>○ 2点、お尋ねをさせていただきたい。</p> <p>1点目は、31ページの事業目標主要一覧の、31ページ、上から4行目の防災キャンプの推進事業についてである。3年度の目標値までで、数値が下がっているのが、この防災キャンプ推進事業だけかと思うのだが、あとは大体横ばいか上がっている数値というのが示されている。やはり今年度はコロナということがあって、少し目標値が下げたのかなど考えたのだが、最近、全国でいろいろなところで地震の報道が多くある中で、やはり防災意識というのを、まだまだ高めていく必要がある。そういった危機的な状況というのをもう少し、どう動くかということも管理して、時にはコロナ禍であるがゆえに、避難所が3密になるということも二次的な災害を生むことにもつながるし、参加してやるということが難しくても、質的に、せつかく予算もたくさん取ってくださっているようなので、そういったコロナ禍における特別な被災状況での合議の仕方とか、そんなことも含めて検討していただけたらありがたいと思う。</p>

<p>企画調整担当課長</p>	<p>まず一つは、数値が下がっている原因をお聞かせいただき、もし具体的に数値が下がっていることがコロナの影響もあるのであれば、具体的にどんなことが実際検討されているのかという内容についてお尋ねできればと思う。もう一点が、最後のページの政策5番の1つ目である。子どもと向き合う時間が充足していると答えた教職員はいないというところであるが、これについても、やはりあまり数値が大きくこれが変わるということはないのかもしれないが、子供もそうであるし、保護者もであるが、先生とじっくり向き合ってほしいというのは、いずれにしても期待値として高いと思う。実際、令和2年度の最終目標値も60%以上ということであったが、実績値が56%ということで、これに関しても、今後どんなふうに上げていくのか具体的な方策を考えておられるのか。</p> <p>○ まず、1点目、31ページ、防災教育の推進事業については、地域子育て支援課に聞いているところを伝えさせていただくと、令和元年度は、公民館8館で行って、体育館に入る人数もコロナ禍前ということで、人数もある程度多かったということ。その8館のうち2館については、小学校と合同でできておったという経緯があったと伺っている。</p> <p>それから、令和3年度の目標値については、6館で実施をするということと、それと併せて密を避けるため、体育館に入る人数を40人に限定したキャンプを実施するというので、6館の各40人で240人という人数を目標値として挙げているということである。</p> <p>それから、訓練については、実は昨年度、危機管理室などが小学校を使って訓練を、昨年は3校で、3地域で実施していったと思うが、これには岡山市の指定職員などが参加をして、コロナ禍がもう始まっていた頃なので、どういふふうに密を避けるかとか、コロナ禍の中で避難所としてなったときに、どういふ物が必要かということで、考えながら進められたところである。そういうものを子どもたちが目にする機会もあるかなと思っているので、そんなところから始めながら、実際にそういうものを使った訓練は学校の中ではちょっと難しい部分があるかもしれないが、今、テントとかマットとか、それから運動場も車中泊ができるようにするとか、いろいろなことを学校の校長先生方をお願いをしながら、避難所となったときのことを想定をしている。そういう動きが子どもたちにもつながって、理解していき避難が十分にできていけるといいなと考えている。</p>
<p>教職員課長</p>	<p>○ ここにも、委員さんからご指摘いただいた、子どもと向き合う時間が充足しているというのが、昨年度末で56%、半分ちょっとということであるが、こちらについては、学校でのアシスト事業の一つの指標と、評価指標とさせていただいている。アシスト事業については、21ページの上から2番目にある。小・中学校において、教員のいわゆる負担軽減を図るといふ観点から、教員の専門性を生かすためにも、事務処理等をアシスト職員の方に担っていただくことによって、子どもと向き合う時間を確保し、また負担軽減につなげていこうという取組になっている。</p> <p>おっしゃるとおり、数字的にはその程度の数字にはなっているが、31ページをご覧ください。</p> <p>こちらの政策5の1のところ、学校でのアシスト事業という欄がある。こちらがその事業の目標、指標になっていて、向き合う時間が充足したかというのは、少しずつであるが、伸びていっている状況で、成果が出てきつつあると思っておるし、アシスト事業が子どもと向き合う時間の確保につながっているかという指標については、90%を超える数値が毎年続いている。実際の時間の確保というものは、これから伸びしろはまだあると思うが、引き続いての成果は出ていると思うので、アシスト職員を有効に活用して、時間が増えたという教職員を少しでも増やしていけたらと思う。</p> <p>特に昨年度だと、今年度もであるが、コロナの対応で追加配置をして、校内</p>

<p>片山委員</p>	<p>における消毒作業、こういったものにも教職員だけではなく、アシスト職員等を有効に活用して、とても有意義であったという声もいただいているので、しっかり頑張ってもらいたいと思っている。</p> <p>○ 不登校支援においても、やはり担任の先生がしっかりとつなぎ役になってくださるというのは、子どもにとっても、やはり保護者の方にとっても、とても安心できることだと思う。その中で先生方の時間というのは、限られた中でこのところを押さえることがとても大事なことなんだろうなというふうに思ったので、ぜひこの数値が上がっていけばいいなと思う。</p>
<p>教育長 石井委員</p>	<p>○ ほかにあるか。</p> <p>○ コロナでできなかったものの中で、多くの人に関心をもつ可能性があるものとして、この学力のことがあると思うが、それは調査できなかったものはできなくて仕方ないと思う。しかし、実態としてコロナが子どもたちにどう影響を与えたのかというのは、学力の面でも、不登校の面でも、その他の面でも、実際どうだったのかというのが見えるものは何もないという中で、コロナの影響をこう捉えているというものがあつたら、よりいいなと。そして、もしかしたらあと1年続くかもしれない中で、新年度以降、このような対応を加えながらやっていくというものがあつたらいいなと思うが、その点についていかがか。</p>
<p>指導課長</p>	<p>○ 先ほどご指摘いただいたコロナの影響がどれだけあるのか、実際分からないことも多いと思っている。そういった中でも学校現場ではできることは確実にやっていくということで、授業、それから学校生活の充実に向けて取り組んでいるところである。それが数字的にどんなものが出るかということ、今年度できることは実施していく中で数値が出てくると思っている。その数値をしっかり見極めて、有効な手立てが必要なものがあれば、確実に手を打っていきたいと考えているところである。</p>
<p>教育長 全委員 教育長</p>	<p>○ 令和3年アクションプランについて、よろしいか。</p> <p>○ 〈承認〉</p> <p>○ では、原案のとおり可決したいと思う。</p> <p>続いて日程第5、報告第13号、教育給与課から願います。</p>
<p>教育給与課長</p>	<p>○ 報告第13号、専決処理の報告になる。岡山市学校管理規則の一部を改正する規則の制定についてである。</p> <p>今回、こちらのほうは、校長の職務権限を定めるため、岡山市学校管理規則の一部を改正する必要性が生じたところであるが、教育委員会に付議する時間的余裕がなかったため、岡山市教育委員会事務処理運営規則第6条の規定により、令和3年3月25日に専決処理したので、本日報告し、承認を求めるものである。</p> <p>一部改正の内容としては、旧県費負担教職員に係る給与事務において、いわゆる税源移譲の権限移譲前から経過措置期間中において、もうずっと校長の専決処理としてきた各種手当の認定の事務について、引き続きこの4月1日から市条例の適用となっているが、令和3年4月1日から校長の専決を認めるために所要の規則改正を行うものである。</p> <p>改正案文は、こちら4ページ、5ページ、新旧対照表は6ページ以降につけさせていただいている。</p> <p>説明は以上である。ご審議のほど、よろしく願います。</p>
<p>教育長 全委員 教育長 全委員</p>	<p>○ 何かご質問、ご意見はあるか。</p> <p>○ 〈意見無し〉</p> <p>○ 報告第13号、承認してよろしいか。</p> <p>○ 〈承認〉</p> <p>○ それでは、本日予定していた議案の審議は全て終了した。以上をもって令和3年4月教育委員会定例会を閉会する。</p>

傍聴の状況			
報 一	道 般	0名 0名	
令和3年4月 岡山市教育委員会定例会（非公開） 会議録			
1 開 催 日	令和3年4月27日（火）		
2 開会及び閉会	開 会	14時07分	
	閉 会	14時50分	
3 出席委員	教 育 長	菅 野 和 良	
	委 員	妹 尾 直 人	
	委 員	片 山 美 香	
	委 員	河 内 智 美	
	委 員	石 井 希 典	
4 会議出席者			
職 名	氏 名	職 名	氏 名
教育次長	荻野拓志	教育次長	奥橋健介
学校教育部長	谷岡哲郎	教育企画総務課長	重河啓子
教職員課長	齋藤靖		
5 議題及び結果			
第6号議案	岡山市教育委員会事務局等の職員の人事について		原案可決